

### 3. 第26回県文学賞

(1) 応募作品数

小説 42、詩 50、短歌 38、俳句 43、計 166編

(2) 企画委員

阿久津善治、安齋哲、伊藤松風、今泉壮市、木村常利  
鈴木正治、鈴木満、高木豊、本多隼男、若松丈太郎

(3) 審査員

大内与五郎、加藤楸邨、草野心平、齋藤庸一、白木英尾  
蘭部一郎、福原十王、藤村多加夫、本多秋五、三谷晃一  
宗像喜代治、山本友一

(4) 受賞者

賞名	作品名	作者名		年令	職業 住所
		本名	雅号(ペンネーム)		
○小説・脚本の部					
文学賞	夕焼ける眺め	小川 秀年		69	農業 西白河郡大信村大字下小屋字西宿
	椿の糸譜	吉岡 棟一		58	僧侶 福島市大森字本町20
準賞	蚊帳の中	須田 明		45	教員(郡山女子高等学校) 須賀川市大字小作田字猿内4
奨励賞	老女	小池 圭子	池 奈美枝	50	マッサージ師 福島市飯坂町湯野町18 堀切アパート

○詩の部

文学賞	夢・現実	小川 琢士		45	教員(白河中央中学校) 西白河郡矢吹町善郷内原 344の2
準賞	戦跡歴史	柴田 武		52	食堂・製麺業 喜多方市上町4596
奨励賞	深い海の魚	浜津 澄男		30	飲食業(自営) 郡山市大槻町小山田西30-6

○短歌の部

準賞	窓の所在	加藤 八郎		56	団体職員 福島市野田町字下江添47
	転地	大石 邦子		31	無職 大沼郡本郷町新町 321
奨励賞	柴	五十嵐淳子		48	主婦 会津若松市湯川町1の47
	楸の柄	鈴木 結志		47	地方公務員 郡山市逢瀬町多田野字念仏担19
	鉱山の子ら	阿部 元子		33	教員(湯本第三小学校) いわき市常盤上湯長谷町湯台堂1の 159
青少年文学奨励賞	明日こそ	梅津 卯	有芽都 詩解流	18	学生(福島高等学校) 福島市渡利馬場町13

○俳句の部

準賞	花 桐	菊地 シノ	菊地 孜乃	46	農業(主婦) 安達郡大玉村大山字馬尽66
	一滴の灯	西島 康	西島三又水	46	旅館業 東白川郡鮫川村大字赤坂東野字広畑 115
	海の如き降	吉村 道治	菅原 道春	33	会社員 福島市森合町2の24
	返り花	唐橋 秀子		50	主婦 喜多方市松山町村松字常磐町2719

### 4. 地方文化導入

(1) 地方巡回絵画展

県美展招待作品および入賞作品のうちから、60点を選び、下記のとおり展示公開し、県民の鑑賞に供した。両町とも高い関心を示し、今後更に拡大する方向で検討を要する。

① 期日・会場

昭和48年6月22日～24日 船引町営体育館

昭和48年6月30日～7月3日 柳津町体育館

② 展示数

日本画 18点、洋画 32点、書 10点

③ 鑑賞者数

船引会場 3,168名 柳津会場 1,387名

(2) 地方巡回合唱公演

① 期日・会場

昭和48年9月8日～9日

ア 会津班 金山町横田中学校体育館

只見町開発センター

イ 相馬班 新地町小学校体育館

鹿島町体育館

② 派遣団体 会津班 ハーモニックあいつ

相馬班 FMC混声合唱団

③ 曲目 東北地方のわらべうた。

パレストリーナー作品 東北地方の民謡外

④ 参加者 会津会場 500名 相馬会場 1,400名

### 5. 第12回県芸術祭

本年度は、会津地区を中心に県下一円で開催され、各行事も盛況であった。とくに主催行事は、会津の各市町を網羅して実施したことは、地方芸術文化の振興上有意義な催しであった。また、本年度の特色としては、

① 33におよぶ参加行事があったこと。

② 隣県栃木との文化交流がでたこと。

③ 従来、主催行事となっていた秀作美術展を独立させ、単独事業としたこと。

④ だし物の内容が地方的であり、持続して開催する見とおしができたこと。

等を挙げることができる。12回目を迎えてようやく県民に定着しつつある。

(1) 期日・会場

昭和48年9月～11月

会津地区および県下一円